

※文字の大きさは MS ゴシック /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、適宜文章中に挿入してください。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄
 No.10

【様式 2】

エントリー名： 春日市立春日東中学校

学校名： 春日市立春日東中学校

活動名： 月曜日に来なくなる学校づくり
 ～Happy Monday プロジェクト～

解決すべき課題： 目指す学校像の一つに【未来志向力】をあげているが、このために目指す生徒像として、○「夢や目標に向かって、どんな困難に対しても、失敗を恐れずにチャレンジし続ける生徒【根性・未来志向力】をあげている。しかしながら実態としては、能力はあるものの自分に自信が持てずに主体的に物事に取り組むことを苦手としている生徒が多い。また、月曜日に欠席等が多い実態があった。また目指す教師像の一つに、○「人権感覚をもち、生徒一人一人の可能性を大切に、厳しさの中にも優しさのある、教育愛にあふれる教師【学習指導力・生徒指導力】」をあげている。しかし、目指す教師像に達成できていないことが上記にある実態の要因の一つにあると考えた。そこで教頭として、学校の実態を踏まえて、解決への具体的方策を明確化させ、全職員体制で課題解決に努める必要があると考えた。

目標・方針： 教頭として、学校全体の①校務分掌の組織改革と②教育課程の編成の工夫を上記の課題解決の手立てとして、取り組んだ。昨年度末に全職員に向けて、課題提起をして、年度当初に次のような改革案をプレゼンし、共通理解・共通実践を図れるようにした。まず、今回のテーマを月曜に来なくなる学校づくり「Happy Monday プロジェクト」とした。そして、月曜からのスロースタートにより、生徒が自ら考え、主体的に行動することを目標とした。

活動内容： この月曜に来なくなる学校づくり「Happy Monday プロジェクト」のために大きく2点から取り組んだ。①校務分掌の組織改革・・・○教育課程部・・・月曜日を5時間時制・定時退校日 ○研究指導部・・・成功学タイム、金曜週テストの内容検討、再テストは火曜日に ○生徒指導部・・・月曜のノー部活動、ノー委員会、衣替え自己決定 ○保健指導部・・・月曜の午睡タイム、健康相談の実施 ○進路指導部・・・昼読のすすめ、校内放送の充実 など各校務分掌で、主任・主事を中心として以上の方策を実践した。

②月曜日の教育課程の工夫【図1】・・・○月曜日の朝 Weekly Time として学級委員運営のもと生徒が自分の1週間の計画を Weekly Sheet にたてる【図2】。
 ○昼一月曜・金曜の昼食時、学校長・生徒会長からの DJ タイムを校内放送で流す。昼休み、全クラス一歩ごとに校長室訪問をして学校長と交流する。○月曜帰り前、全教師による自らの失敗談を語る失敗学放送とリフレクションタイムを実施する。といった一連の月曜の取組を実践した。
 この2点の活動を実践することで生徒と教員が同じベクトルに目標をもち、学校全体の大きな改革の流れにつながった。

Happy Monday 進化版 Weekly Time

- ・ 朝の Weekly Time
 - ・ (1週間の計画を立て、見直しを持った1週間にする事で自信を持ち、積極的に、強い心を持って、学校生活を送らせる。)
 - ・ やられる学校生活ではなく、自分が決めたことに自信を持って、やりとげる強い心を育てるのがコンセプトです。
- ・ 帰りの会
- ・ 失敗学 教師ローター(TV放送)
- ・ リフレクション【内省】タイム
- ・ 失敗学の振り返り

| 日 | 7/12 | 7/13 | 7/14 | 7/15 | 7/16 | 7/17 | 7/18 |
|--------|--------------|------|------|------|------|------|------|
| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | |
| 行事 | Happy Monday | | | | | | |
| 予定 | | | | | | | |
| 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 |
| 7/12 月 | | | | | | | |
| 7/13 火 | | | | | | | |
| 7/14 水 | | | | | | | |
| 7/15 木 | | | | | | | |
| 7/16 金 | | | | | | | |
| 7/17 土 | | | | | | | |
| 7/18 日 | | | | | | | |

【図1 左：月曜の流れのフローチャート 図2 右：Weekly Sheet の実際】

取組の過程： 月曜日に休みが多い課題を教員と生徒の学校全体が共通理解を図り、改革をした。

①東中アラートの活用【図3】
 月曜日に来なくなる学校づくり (Happy Monday Project) の指標として、生徒の欠席や遅刻・早退等を数値化して赤・黄・青で示した「東中アラート」を開発し、毎日の主任会や不登校担当メンバーの職員に配付することで、全職員が共通理解・共通実践ができるように努めた。

| | | |
|----------|---------|---------|
| 1ヶ月前のデータ | 2年(220) | 3年(208) |
| 1人 | 0人 | 1人 |
| 0.5% | 0% | 0.5% |

| | | |
|----------------|----|------|
| 東中(626)2人-0.3% | | |
| 1人 | 0人 | 1人 |
| 0.5% | 0% | 0.5% |

| | | |
|---------------|---------|---------|
| 4/26(月) 最新データ | 2年(220) | 3年(208) |
| 2人 | 7.5人 | 13.5人 |
| 1.0% | 3.4% | 6.5% |

②学校長・生徒会長コラボのお昼のDJタイム
 月曜日に来なくなる学校づくり (Happy Monday Project) の活動の一つに学校長と生徒会長のお昼の放送を実施した【写真1】。学校に来なくなるような話から学校に感染者が出た際、学校全体で配慮する行動を取るための呼びかけなど多岐にわたる話が毎回、全校生徒と職員に伝えられた。生徒の代表である生徒会長と教員の代表である校長が連携する姿は、春日東中が目指す「生徒と職員が師弟同行しながら総合的な人間力を向上させる学校」像の姿そのものであると言える。

活動の成果：一連のプロジェクトの取組を実施した結果、大きく3点の成果があった。

1 学校全体の不登校生の出現率の減少につながった。
 平成30年度からの不登校出現率を8月末(令和2年度は4~5月が臨時休校期間だったため、学校開始後5ヶ月後の10月末)の推移を比較してみると今年度は、1.92%であり、一番欠席が多かった月曜日の Happy Monday プロジェクトの成果があらわれたことがわかる【図4】。

| 年度 | 出現率 (%) |
|-----|---------|
| H30 | 3.65 |
| R元 | 3.47 |
| R2 | 2.63 |
| R3 | 1.92 |

【図4 春日東中学校不登校出現率の推移】

2 中一ギャップの改善につながった。
 1年生は全クラス、夏休み前に班ごとの昼休み校長室訪問を実施し、学校長と一班5~6人で交流した。入学後の悩みや困ったことを聞く機会を得たことで、早期の課題解決につながり、1年生の8月末の不登校出現率は、0.5%であり、199名中1名に抑えられた【写真2】。

3 生徒の主体的行動につながった。
 生徒が Weekly Sheet の活用などにより、自分の計画や目標をプランニングする力をつけることができた。そして3年生は修学旅行代替行事を自ら企画して、校則検討委員会で生徒会が意見を述べたりすることができた。さらにコミュニティ・スクールとして、総合的な学習の時間に春日市議会と交流し、将来の市政提案をする姿につながった。

【写真2 昼休みの校長室訪問の様子】